

9年間の豊かな「学び」と「育ち」をつなぐ

市川市立塩浜学園

1 はじめに

本校は、市川市立塩浜小学校（昭和56年開校）及び市川市立塩浜中学校（昭和57年開校）を統合し、平成27年4月、小中一貫校として新たに開校、平成28年4月に千葉県初の義務教育学校となった。

開校から5年目を迎えた今年度8月、一体型校舎が完成し、1年生から9年生までの児童生徒が同じ校舎で生活している。（校庭・外周等すべての工事完了は令和3年8月予定。）

前期課程児童（以下小学生）と後期課程生徒（以下中学生）が、毎朝、同じ昇降口から登校し、元気に挨拶を交わして1日がスタートする。昼休みには小中学生が一緒に遊び、委員会や部活動も一緒に行っている。

日常生活の中で、当たり前のように小中学生が交流する姿は微笑ましく、義務教育学校ならではの光景である。

今年度はコロナ禍で活動に制限はあるが、本校の特色ある取組を紹介する。

2 特色ある学び

義務教育学校の修業年限は9年、小学校段階にあたる1～6年生は前期課程、中学校段階にあたる7～9年生は後期課程となっている。それぞれの学年の学習は小学校・中学校学習指導要領に則って行う。

(1)学年区分（4－3－2制）

4－3－2制により、子供たちの身体面・情意面・学習面の発達に即したきめ細やかな対応を図ることができる。

1～4年生をSブロック（基礎期）、5～7年生をMブロック（充実期）、8・9年生をLブロック（発展期）の3つに区分し、発達段階に応じた指導及び活動の推進を図っている。

また、新校舎の教室配置もブロックごとになっており、特に5・6年生については7年生の生活を身近で見ることができるため、後期課程進級後の生活のイメージを持ちやすい環境にある。

(2)教科担任制の早期導入

5年生から一部教科において教科担任制を実施している。（後期課程教員が授業を担当する。令和2年度は算数・社会・外国語・図工・音楽・体育で実施。）

専門性の高い指導を行い、「わかる授業」によって学力の向上を図ること、早い段階から教科担任制を実施することで中学校段階への移行をスムーズにすることなどをねらいとしている。

教科担任制の早期導入は、児童の学習意欲の向上にも効果がある一方で、後期課程の教員が5・6年生の授業を行うことで、系統性・連続性を意識することができるようになり、義務教育9年間を見通した教育活動の実現に大きな力となっている。

(3)塩浜ふるさと防災科

義務教育学校では、一貫教育の実施に必要な教育課程上の特例を、設置者（市川市）の判断で実施することが認められている。本校では、9年間を貫くカリキュラムとして、平

成27年度に「塩浜ふるさと防災科」を新たな教科として創設した。

地域の特性を生かし、体験活動を工夫することで、地域に誇りや愛着を持った思いやりのある豊かな心と、自主的に問題解決を行う、たくましく生きる力を育成している。

＜体験的な活動＞

- ・塩浜地域の歴史や特色についての調査
- ・生き物の調査、飼育
- ・避難訓練の計画、実行
- ・地域行事の企画、運営など

(4)その他の取組

今年度は中止となってしまったものもあるが、本校の特色ある行事や活動についても簡単に紹介する。

①嵐潮祭（体育祭）、潮香祭（学習発表会）

1～9年生の全校児童生徒が参加して行う本校の柱となる行事である。

嵐潮祭では、各学年の種目だけでなく、S・M・Lブロックごとの競技を入れるなど、工夫を凝らしている。

潮香祭での音楽発表では、1～9年生で全校合唱を行い、参観に来る地域の方や保護者に感動を与えている。

②5年生からの生徒会活動、部活動

Mブロックの活動の充実を図るため、生徒会活動や部活動については5年生から参加させている。生徒総会や生徒会役員選挙に5年生から参加させることで、よりよい学校づくりに参画する意識を育てている。

③異学年交流

1～9年生で縦割り班（16グループ）を作り、毎年5月に1回目の交流を行う。青空給食（縦割り班で外で給食を食べる）、その後縦割り班での遊びなど、異学年の交流の場を作っている。また、縦割り班での清掃活動も行っている。

3 地域とともに歩む

塩浜地区は地域の教育力が高く、地域全体で子供を育てる環境が整っている。平成28年度「塩浜学園学校運営協議会」を設置し、「コミュニティ・スクール」となった。

(1)学校運営協議会

学識経験者や地域住民、保護者、学校長等計15名の委員で構成されている。年間5回（今年度は4回）の運営協議会が開催され、学校の教育活動について活発な意見が出されている。どの委員も前向きで、学校運営を支える学校の応援団としての役割を担っている。

(2)はまっこサポート（地域学校協働本部）

はまっこサポートは、塩浜地区を中心に、子供たちの活動をサポートする地域団体やボランティアの総称である。

自治会や保護者を含め地域団体が連携し、おはなし会（読み聞かせ）、夏祭り、餅つき大会、ラジオ体操など、様々なイベントを実施し、地域全体で子供を支えている。

4 おわりに

新しい校舎には、各フロアに異学年交流のできる共用スペースがある。

2階には1～4年生が自由に本を読めるスペース、3階には5～7年生が自由に話すことのできる歓談スペース、そして4階には8・9年生が学習できる自習スペースである。

この共用スペースを含め、新校舎の細かい使い方については生徒会を中心に児童生徒に決めさせていく予定である。

また、教職員も今年度の状況を踏まえ、義務教育学校として何ができるか、模索しながら日々の教育活動に取り組んでいる。

これからも、教職員と児童生徒が手を携えて新しい塩浜学園を作っていきたい。